

2017年7月3日  
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦  
担当ワーキンググループ主査 谷本 寿男

フィリピン国産業集積地（カビテ州）洪水対策事業  
（協力準備調査（有償））  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2017年6月19日（月）13:59～16:09
- ・場所：JICA 本部（2階 210 会議室）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、織田委員、清水谷委員、谷本委員、林委員
- ・議題：標題事業に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：1) スコーピング段階助言対応表  
2) ドラフトファイナルレポート  
3) Environmental Impact Assessment（Draft）  
4) Resettlement Action Plan（Draft）
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第82回委員会）

- ・日時：2017年7月3日（月）14:30～17:05
- ・場所：JICA 本部（1階 111+112 連結会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全般事項**

1. 本事業で提案されている6つの非構造物対策優先プロジェクトについては、本事業の借款対象ではないものの、それらの実施を同列におくのではなく、河川や排水路の維持管理の一環として清掃活動ならびに洪水管理委員会（FMC）活動の本事業対象地域への拡大が、実施・関係機関及び住民にとって直ちにに取り組むべき優先プロジェクトである旨をFRに追記すること。

### **環境配慮**

2. San Juan 分水路の河口域及びその周辺を利用する零細漁業の現状について、可能な限りFRに記述すること。
3. 供用時の地形・地質に関するスコーピングの再評価に関し、分水路等の構造物そのものからの影響に加えて、構造物が建設されたことで流下土砂が堆積する自然要因による影響をも考慮し、評価をDからB-に修正すること。

### **社会配慮**

4. 女性世帯主や障がい者世帯といった社会的弱者への社会配慮に関わるデータについては、性別、職業別等のクロス集計を可能な限り行うこと。

以上